



日退教和歌山新聞

日本退職教職員協議会和歌山
日退教和歌山
640-8114 和歌山市船場町16
日教組和歌山内
TEL 073-436-6820

に挨拶

会長 竹内 孝子

コロナ禍にも関わらず総会にお集まりいただいた会員の皆様、来賓の方々に感謝申し上げます。今年度もコロナの感染状況をみながら活動を進めていくこととなりますが、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

コロナ緩和で企画、増加に！

＝総会で提案可決＝

日退教和歌山2023年度総会が6月21日中央コミュニティセンターで開催され、28名の会員が出席しました。会では、「引き続き新型コロナには警戒をしながら、少しずつ活動を復活していく」という提案がなされ、原案通り可決しました。

＜予定の行事＞

- ◇ヨリ教室（実施済み）
- ◇バスツアー（春は実施済み）
- ◇水平社博物館見学
- ◇憲法・安保学習会
- ◇グラウンドゴルフ
- ◇絵画教室

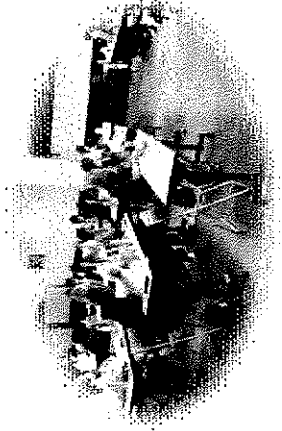
また、紀中紀南の会員の方にも活動に参加しやすい方策を、という意見もありました。

なお新役員として、副会長に藤本真利子さん、幹事に金原佐知子さん前島哲富さんが就任しました。そして顧問の廣本満さんはご自身の意志で役員を勇退されました。（議案等は別紙同封しています）



＜新会員の紹介＞

- 沖殿尚弘さん
（現在、紀伊中で勤務）
- 前田安貴子さん
（現在、桐見中で勤務）
- 三木康子さん
（現在、太田小で勤務）
- 吉野由加里さん
（現在、高積中で勤務）
（6月21日現在）



「日退教第50回定期総会」から

6月9日、日本教育会館で開催された定期総会。開会に先立ち、全国の亡くなられた会員などに対し黙祷が行われる。まずは、竹田会長の挨拶から始まり、その中で、次のような懸念を話された。

- ① ロシアによるウクライナ戦争がこれからどうなるのか。
- ② 広島G7で核兵器廃絶に議論が進まなかった。日本の役割は？
- ③ 防衛費の増額。国債を使うのではないのか。
- ④ 社会保障では高齢者の負担が増えるのではないかなど。

来賓の挨拶は日本退職者連合会長、地公退会長、教職員共済理事長、退女教会長、日教組副委員長と続き、日教組副委員長からは、教育環境について、働き方改革が一向に進んでいない、業務の削減が必要である、と。給特法の廃止については、教員不足で、ある県では4月に人員不足となり、73歳の先輩が手を挙げてくれたとのこと。さらに日政連議員の水岡、古賀参議院議員からは、入管法の改正案の審議でがんばっていますと報告があり、重ねて水岡議員から、再来年7月の選挙もよろしくとのこと。

その後、第1号議案として、22年度活動報告と23・24年度の運動方針案の提案で昼食。

食後、第2号議案の決算、予算、会計監査の提案。続いて、第1号議案の質疑・討論・採決。

主な質疑・討論は

* 免許更新制度が改正されたが、研修制度が改善されている。官製研修が強制され、国の管理が強まっている。（北海道）

* 安倍元首相の国葬裁判を起こしているが先日結審した。7月に判決がある。1946年に失効している国葬法。今は憲法にもない、法律にもないのに閣議決定だけで行い、12億円を使い、1200人の自衛隊員を動員した国葬は、違憲である。今後、7月の判決で負けても控訴、上告を考えている。（神奈川県）

* 戦争の記録を残す取り組みとして本を作った。本の名は「いま、話しておかないと」。戦争は絶対ダメと若い人たちに伝えていかなければならない。（福岡高）

* 女性参画について、日退教と退女教の統合問題についての議論をどうするのか。どう運動を進めていくのか。退女教ができた歴史を考えた上での統合の議論をするべきではないか。（大阪退女教）

* 朝鮮学校の保育園に今まで支給されなかった補助金が、倉敷市で今年度から支給されるようになった。（岡山）

* 日退教の方針に、もっと子どものことを書いてほしいと要望。小学校での暴力行為が以前より10倍程度に増えている。子どもたちのいじめの定義が変わったからか、テストなどで子どもたちのストレスが増加したからか、また、幼・小学校の時からゲームに時間を費やしている影響からか。（滋賀）

* 沖縄の基地問題についての報告。（沖縄）

* 原発再稼働について、知事が再稼働を容認した。（徳島）

第1号議案・第2号議案が採決、採択された後、役員の改選が行われ、総会宣言を採択して閉会。「がんばろう三唱」で、今日一日の日退教第50回定期総会を終えた。

（事務局長 南方）

若い！

現職（日教組和歌山）の定期大会

6月10日、来賓として日教組和歌山の大会におじゃましました。

とにかく、議長団も含め、前に座っている役員さんたちに若い人（自分の子の代わりとか・・・）の多いこと！この人たちが日教組和歌山を支えている・・・感動しました。

一方、60歳を超えて現職組合を支えている懐かしい顔もいっぱい・・・

みなさん、ありがとう。いっしょにがんばろう！

（副会長 辻本）



植えられて
いるぶどう
の種類の説
明です。

日退教和歌山新聞

日本退職教職員協議会和歌山
日退教和歌山
640-8114 和歌山市船場町16
日教組和歌山内
TEL 073-436-6820

昼食とお買い物のあと北野神戸異人館街へ。新神戸トンネルを抜けると、港町神戸の街並みが広がりました。北野工房のまちに到着し、自由行動。坂を登って異人館を巡る健脚コースに挑んだ方、素敵な異人館カフェでグルメ（ワインで?）を楽しんだ方、おしゃれな街でショッピングやスイーツ巡りをされた方、中には新神戸駅近くの竹中大工道具館まで足を伸ばし、日本の伝統工芸を鑑賞された方も。みなさん、様々な過ごし方を楽しまれたようでした。

まず、研修室で講習を受けた後、ぶどう畑と醸造所へ見学ツアーに。ただ説明を聞くだけでなく質問も積極的で先輩の先生方の学びへの意欲を感じました。それからいよいよテイスティング。赤と白のワインが、2種類のワイン用ぶどうの生搾りジュースのどちらかを選択できました。ジュースは他では味わえない珍しい物でぶどうの品種が違えば全く味わいが異なり、大変興味深く思いました。赤のワインはG20大阪サミット首脳の夕食会に選ばれたもので、香りも良く果実味と優しい味わいが印象的でした。神戸ワイナリーではかつての豊産主義から品質第一主義に舵を切り、こだわりの持ちでワイン造りに取り組んでいるそうです。

行く先は神戸ワイナリーと北野異人館街。今回は3年ぶりの開催、長くお会いしていなかった方々にお会いできるということで大変心待ちにしておりました。集合場所でも久しぶりの再会を喜び合う笑顔があふれていました。バスに乗り込み、いざ出発。パンフレットと旅のしおりを頂き旅の気分も高まります。自己紹介や近況報告を聞きながら、和やかな雰囲気ではバスは目的地へと向かっています。集合の時には小雨まじりの天候も次第に回復し、車窓に六甲の山々が近づく頃には雲の切れ間に青空が見えるようになってきました。つたのからまるゲートを通り抜けるとぶどう畑と鮮やかな色の花々に囲まれた赤い屋根の建物が。ここが神戸ワイナリー。まるで外国に足を踏み入れたようでした。

待ちに待ったバスツアー

貴志 淳子

やっとバスツアーを実施することができました。新型コロナウイルス感染症により、3年間実施することを見過ごしてきました。会員の中からも感染防止対策をしながら実施できるのではないかとという声、まだ心配だという声を聞いてきましたが、バスツアー部で検討を重ねてきて、やっとやっと実施することに決めました。

3年のブランクがあつたので、まずは少ない人数でと考えて三十人の参加で計画しましたが、結果は二十三人参加となり、旅行費用は割高になってしまいました。でも、ちよつと国の全国旅行支援事業の補助を受けることができました。費用の2割とお土産券2000円分が付いたので、いつもより少し安くなりお得感がありました。

今回のツアーを企画し、お世話して下さった役員の皆様に感謝致します。本当にありがとうございました。

今回のツアーでは、それぞれの場所で見聞を広め、神戸の魅力を再発見することができました。でも何よりこのツアーでお会いした方々と一緒に、この楽しい一日を共有できたことを嬉しく思います。



春のバスツアーを終えて

事務局から

- ・しまなみ海道
- ・琵琶湖周辺 2人
- ・竹田城跡周辺
- ・高野山町石道
- ・石灘水八幡宮
- ・奈良方面 3人
- ・神戸方面、中華街、六甲山
- ・京都方面 3人 南禅寺、知恩院
- ・三重県 関宿、甲賀忍者屋敷
- ・滋賀県 近江阪本と比叡山、琵琶湖パシ
- ・福井県 一乗谷遺跡
- ・電車で行くのも良い
- ・尾瀬ヶ原
- ・天橋立
- ・四国方面
- ・熊野古道
- ・淡路島

バスツアーへのアンケート結果報告

遅くなりましたが、先日、会員の皆さまにバスツアーについてのアンケートをお願いした結果を報告します。四十人の方がハガキを戻してくれました。

その中で半数の人が、感染が心配、介護、高齢、孫守り、仕事、体力の不安などのために参加を見合わせていました。

また、行先として、次のような場所を教えてくださいました。観光地、歴史の跡、自然散策など、ちよつと遠いなあと思うものもありましたが、今後のバスツアーの行先選定に参考としたいと思います。ありがとうございました。

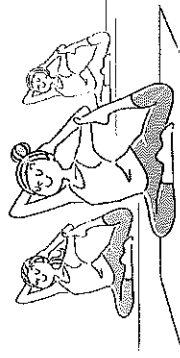
バスに揺られること往復4時間余り。いつかは、帰路のバスの中で、恒例の力つた大会をするのですが、さすがに今回は中止をして帰りました。今回のバスツアーからできればいいのですが。

まあ、あまり外出しなかった3年間でしたが久しぶりに会員の皆さまの顔を見られて、一日楽しく過ごすことができました。

次回はもっとたくさんの参加者があることを期待をしています。お疲れ様でした。

神戸ワイナリーへ





日退教和歌山新聞

日本退職教職員協議会和歌山
日退教和歌山
640-8114 和歌山市船場町16
日教組和歌山内
TEL 073-436-6820

ミツバチシリーズ3

大山 隆生

ミツバチの生態（その1）

花の蜜を糧に生活しているハチバチは約2万種いるといわれています。そのうちミツバチは数十種類で、日本ミツバチは東洋ミツバチの亜種でミツバチの中ではやや小さな体調1.5cm程の昆虫の仲間です。

本来自然界に生息しており、果樹や野菜の受粉を促し収穫に貢献しています。従って栽培品種によってビニールハウス内に購入したミツバチを放ち、収穫量を上げている農家があります。しかし働きバチの寿命は約3週間と大変短く収穫期間中何れも補充する必要があります。（農家への販売専門の養蜂家もいます。ちなみに1セット約3,000匹で6,000円）。養蜂家からのミツバチの輸送には、かなり前から郵便局が活用され（局留め）ているようです。

このことから、農家にとってミツバチはいかに大切な存在か窺い知ることができます。

ミツバチが他の昆虫と大きく違う点は、越冬することができるということです。特に日本ミツバチは越冬の能力に優れているようです。単体では気温8℃以下では体温が下がってしまい活動できませんが、集団では身体を寄せ合って塊になり、飛翔筋をを小刻みに震わせて熱を生み出します。そしてお互いの体温を上げるとともに、巢内を暖房し卵や幼虫、それにさなぎを護ります。

日本ミツバチの生息域は長い間、沖縄県から福島県までとされてきましたが、昨今の温暖化の影響か青森県まで北上が進み、さらに本年度初めて北海道で越冬が報告されました。人間は急に寒いところに出ると、ブルッと身体が震えることがあります。これは急激に奪われた体熱をすぐに補おうと無意識に起こる反射行動です。ミツバチはこれを集団で意図的に継続して行っているのです。

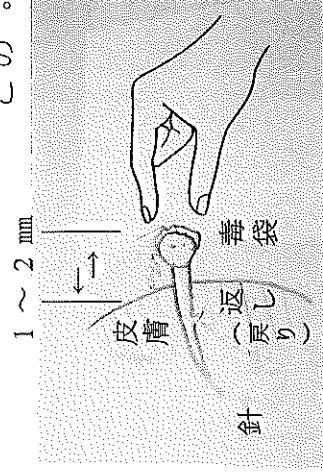
冬場巢の前で横たわっているハチをよく見かけることがあります。蜜を採りに出かけて気温の低い空中を飛んできたためか、巢に入る直前で力尽きてしまったものと思われます。これらのハチを

掌にそっと拾い上げ、反対の手で蓋をしてしばらく温めてやると掌の上で羽ばたきを始めるのを感じることができます。低体温症で仮死状態になっていたと思われるハチを蘇生させることができたのです。そっとつまんで巢の入口に置いてやるとトコトコと歩いて入っていきます。救命救急大成功です。横たわったまま蘇生しなかったハチも、タイミングが良ければ一度に十数匹の命を救うことができます。しかし、まれにこの救命救急中に何を思ったのか掌を刺すハチがいます。せっかく救われた命なのに刺すことによって自ら命を落としてしまうことになるのです。「ハチの一刺し」という言葉があります。スズメバチ類は同じハチが何度も刺しますがミツバチは一度刺すとそのまま死んでしまいます。ミツバチの針には戻り（返し）が付いていて肉臓と繋がっています。従って、刺したあと胴体が飛んでしまっても針は刺した皮膚に刺さったまま残ってしまい、抜けにくい構造になっています。さらに、その針の端には毒の入った袋が付いていて、刺さった針を抜こうとすると自然に毒袋をつまんでしまい、さらに毒を絞り出すような仕組みになっています。

日本ミツバチは大変穏やかな性格で、よほどの危機感を与えない限り刺すことはありません。しかしこの場合、掌の中で急に覚醒したハチが急変した環境の変化を正しく認識できず、生命の危機と捉え思わず刺してしまっただけでしょう。

また、夏の暑さに対しては巢の入口で、複数のハチが羽ばたいて外気を巢内に送り込んだり、口に含んだ水で巢の中の壁を濡らし、気化熱で巢内温度を下げたりしています。このように集団で冷暖房の快適な住環境を維持することができるのです。

内蔵と針が繋がる様子



- お詫びと訂正(シリーズ2)(編集部のおぼろけでした)
- 1段1行目 ミツバチの歴史→養蜂の歴史
 - 5行目 養蜂でミツバチを得る→蜂を養う
 - 2段4行目 花の道を集めて→花の蜜を
 - 8行目 ミツバチ生産量の↓蜂蜜生産量の

三方教室に参加して

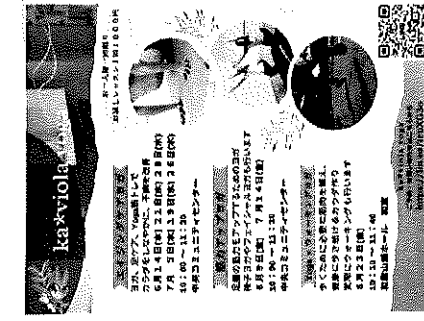
神前加代子

五月十三日、日退教和歌山発の三方教室に参加しました。和田先生のもと、十三人、一時間半みっちり運動した一部を紹介します。

- ① 周りの人と比べて無理をするのではなく、自分の気持ちの良い運動でいいこと。
- ② 足首、手首、腰のくびれ、首の柔軟性が大事なこと。
- ③ 首の運動は、耳の外周の指圧や上・外・下に引っ張ることでも代わりになる。
- ④ 足の裏には全身のツボがあるので、親指を中にして、握った拳で思い切り足裏全体をたたくことで疲労回復にも良い。
- ⑤ 運動するときは、今日のツボは何を食うよとかなどの雑念は捨て、今している運動のことに集中することで効果がアップする。

身体はすっきり、気持ちも爽やかに終わりました。家でもできる簡単な運動もあり、生活に取り入れていけそうです。

和田先生は、中央口ミゼンや和歌山城ホールでも三方教室をしているそうです。



今回の講師先生の紹介

和田佳代子さん

「健康で美しく、オーラ輝く人を目指して」
を運営されています

<https://ka-viola.crayonsite.net/>